



★ 2次試験に向けて最後の頑張りを！(直前7ポイントアドバイス)

(1) 個人面接

3. 4年生の皆さんは、6/22から一所懸命に練習をしていましたね。4年生は、初めて面接練習をした2月とは比べ物にならないほど著しく進歩しました。自分のウリ(よさ)を2つ用意しておき、それを前半15分でしっかり面接官に伝えてください。試験されているという意識ではなく、「**自分のウリを面接官に伝えてくる**」という気持ちで面接試験に臨むことが大切です。そうすれば、面接官に質問というスマッシュを打たれて防戦一方というのではなく、「**面接官の質問を受けるたびに自分のウリを伝えるチャンスが来る**」と考えられ、余裕が出てきます。面接極意書にも書きましたが、しつこく質問してくる面接官はイヤミな人なのではなく、よさを十分に出不せていない自分に助け船を出してくれているのです。面接官も人間です。いろいろなキャラがあります。強面の人もいます。でも、表情や態度の恐さとは裏腹に皆さんを助けてあげようとしているのは確かです。**相手の表情やしぐさに決してひるまないでください**。大丈夫です。また、さんざん練習したので大丈夫だとは思いますが、個人面接の最初の質問は、大抵「**志望理由**」です。教員志望理由なのか自治体志望理由なのか校種志望理由なのかをきちんと判断して、**教員としての抱負を語りましょう!**いきなり、恩師の影響だの自分の出身地だのと過去のことは言わず、未来のこと(抱負)を大いに語りましょう!そして、**志望理由を利用して面接官を自分の得意な世界に引っ張り込みましょう!**そうすれば、合格は間違いないです。もちろん、関連質問で「**そう考えたきっかけは何ですか?**」と聞かれたら、恩師の話などをして構いません。また、手だてを聞かれたときは、**必ず具体的な方策を答えましょう**。「例えば、・・・」というように例を挙げるとよいでしょう。答えが長くなりそうときは、「**例を挙げてもよろしいですか?**」「**例を挙げたいので説明が若干長くなりますが、よろしいでしょうか?**」と確認を取ってから説明するとよいでしょう。逆質問は、時間内に2~3回行う方がいい印象です。

(2) 集団面接

集団面接は、個人面接をまとめて行うものです。5~6人の受験生を横1列に並べ、2~3人の面接官が質問します。つまり、個人面接対策がしっかりできている人にとっては、何も恐れることはありません。ただ、**個人面接と違うのは、他の受験生の答えという雑音の間聞こえてくるということです**。この雑音に惑わされてはいけません。個人面接を受けているという意識を保つことが大切です。だから、やたら「**Aさんの言う通り、・・・**」「**Bさんと同じで、・・・**」と他の受験生を引き合いに出してばかりでは弱腰です。「私も・・・という意見には賛成ですが、それに加えて・・・も重要ではないかと考えます」というように**自分の考えをプラスしてください**。また、むやみに他の受験生の考えを否定するのは協調性に欠けると受け止められる恐れがあるので、要注意です。**他の意見に流されずに自分の意見を堂々と主張してください**。また、発言の順番については、「**Aさんから順にお答えください**」と「**考えのまとまった方から挙手してください**」の2種類があります。前者の場合は逆順もありますから、端の席に当たった人は構えておいてください。挙手の場合は、いつ手を挙げるか迷うところです。最初に答えて不十分でもいけないう、最後になると他の受験生に答えを言われてしまいます。一般的に**無難なのは、2番目か3番目**です。1番目の答えに対する面接官の反応を見た上で、なるべく早めに答えるのです。後になればなるほど雑音が増えますし、少しでも早めに答えれば意欲を評価してもらえます。

(3) 集団討論

集団討論は集団面接とは全く別物で、与えられたテーマについて5~6人の受験生が議論を行うものです。ただ、東京都のように集団討論を集団面接と呼んでいる自治体がありますから、実施要項での確認が必要です。また、テーマについても、東京都のように「**基本的な生活習慣をどう定着させるかについて学年として話し合う**」というものもあれば、神奈川県のように「**9人全員が模擬授業を行った後に、主体的・対話的で深い学びという観点から模擬授業について議論する**」というように模擬授業とセットになっているものまで様々です。これも実施要項を見たり、先輩に聞いたりして確認してください。集団討論で評価されるのは、教職への理解、教科等の指導力、対応力、将来性、心身の健康と人間的な魅力(ここまでは東京都が公開)、協調性、リーダーシップ、論理性、説得力、会議の運営能力などです。他の受験生の発言中に口をはさむのは厳禁です。**発言するときには、挙手して確認を取りましょう**。一番困るのは、同じグループに**通称「クラッシャー」**と呼ばれる人がいた場合です。例えば、長年の非常勤講師経験を基に他の受験生にマウントしてくるような輩です。一見優秀な人に見えますが、恐れる必要はありません。優秀ならとくに合格しているはずですから。課題があるから不合格になっているのです。ただ、問題なのは、この人が同じグループの人たちを蹴落として自分が合格しようと勘違いしている点です。集団討論のグループのメンバーは、同じ船に乗っているのと同じです。いい議論ができれば全員が合格するし、そうでなければ全滅します。だから、この勘違いは大きいのです。と言っても、試験中に指導するわけにはいきません。まず**大切なことは、その人に振り回されないこと**です。感情的になったり議論を過熱させたりしてはいけません。議論の行方を見ながら、他の受験生と連携して**常に冷静に対応**します。ときには、「**話がだいぶ細かくなったので、話題を〇〇に戻しませんか?**」と話題の転換を図ることも必要です。集団討論の班分けは運次第です。万が一不運な班になったとしても、あきらめずに頑張って議論をいい方向にもって行ってください。ここで諦めたらまた1次試験からやり直しだと思えば力が出るでしょう。自ら司会を担当してしまうのもいい方法です。

(4) 模擬授業

教採の模擬授業は、自治体によりますが、授業開始から5分~10分間です。例えば、大阪府は、生徒とのやり取りな

して授業導入の5分間。神奈川県は、掲示物など必要な教具持参可で10分間+事後に模擬授業についての集団討論です。単元は好きに選べることも多く、当日学習指導案持参の自治体が多いです。いずれにしても1次試験の合格が分かってから準備したのでは間に合わないの、早めに準備しましょう。言うまでもなく、模擬授業後には質疑応答があるので、単元は得意なものを選ぶのが常識です。安易に教育実習で研究授業を行った単元とするのは愚かです。「何故この単元を選んだのか?」「この単元で生徒がつまずくのはどこか?それを防ぐためにどのような手だてを行うか?」「この単元の年間指導計画上の位置付けは?」「この単元を学ぶ上で必要な既習事項は何か?」「この単元は、この後高校(大学)でどのように発展していくのか?」などが、定番の質問です。必ず事前に準備しておきましょう。

(5) 復元答案を作成して振り返ろう!

面接試験では、緊張して何も覚えていないことが多いです。だから、終わってから質問と答えがしっかり復元できた人は合格する確率が高いです。それだけ冷静だったということです。復元答案を見れば、合否がある程度読めます。面接等の様子をワークで起こして教職課程センターに提出してください。3日経つとほとんど記憶がなくなるので、復元答案は3日以内に提出をお願いします。皆さんは、準備の段階で先輩の残してくれた復元答案のお世話になったと思います。今度は、皆さんが後輩のために復元答案を残してください。よろしくお願いします。

【教育実習準備からお礼状の送付まで】

★ 今月は、コロナで教育実習が秋実施になった4年生の皆さんのための教育実習特集です。

1 教育実習に行く前に準備しておきたいこと

担当する教科の教科書を予習しておくこと。教科書は、教職課程センターにあります。予習と言っても1冊全部は無理です。実習の事前打ち合わせに行ったときに、使用教科書と年間授業計画を見せてもらい、実習期間中大体どの辺の単元になりそうか予想してください。その他、実習校との事前打ち合わせの内容をしっかりとメモしてください。

2 教育実習中に行きたいこと

正方形の付箋(大)を常にポケットに入れておき、面接試験に役に立ちそうな体験をしたり知識を得たりしたらすぐその場でメモし、後でその付箋をノートに貼っておきます。たとえ教採で役に立たなくても、採用されてから役に立つかもしれません。また、指導教員に実習日誌を見ていただくときは、時間に余裕をもって提出してください。指導教員は、暇ではありません。自分のペースで日誌を見てもらおうと考えるのは間違いです。

3 実習後に行うこと

(1) 実習校へのお礼状の送付

1) 誰に出すか

校長と指導教員です。内容が若干違うので、できれば別々に出したいです。1通にするとときは校長宛てにして、文末に「ご指導いただいた指導教員の〇〇先生をはじめ、先生方にもよろしくお伝えくださいませ。」と書きます。大抵の場合、お礼状は全実習生分をまとめて全教員で供覧されます。他の実習生と比較されるので丁寧に気持ちを込めて書きましょう。

2) いつ出すか

実習終了後、速やかに出してください。遅くとも1週間以内には出したいです。

3) どのように書くか

便せん縦書き。直筆で書きます。インクの色は黒。メールやワープロ原稿は不可です。修正液も使用不可です。

4) どんなことを書くか

- ① 校長に対しては、実習をさせていただいたお礼。指導教員に対しては、指導していただいたお礼
- ② 実習中に学んだことや思い出(具体的なエピソードを挙げるとよい)
- ③ 学んだことをどう生かすか。(自分の今後)
- ④ 継続指導のお願い及び末尾の挨拶



【文例】<指導教員宛>

①拝啓 過日は、教育実習において心温まるご指導をいただきまして誠にありがとうございました。②実習を通して数学の指導法だけでなく、生徒への対応の仕方など多くのことを学ばせていただきました。中でも、〇〇先生のご指導により、数学が不得意だった生徒が自力で問題を解けたときには大変感動しました。③私は東京都の教員採用試験を受け、現在合格発表を待っております。合格したら教育実習で学んだことを教員として実践していく所存です。④今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。末筆ながら、先生方のご健勝を祈念しております。 敬具

※1 校長宛の場合: ①拝啓 過日は、教育実習の機会を与えてくださり、誠にありがとうございました。

※2 教採を受験しなかった人の場合: ③私は民間企業に就職しますが、教育実習で生徒との関わりなどの教職の魅力に触れたことで、近い将来教職を目指そうかと考えております。

(2) 実習校へのお礼訪問

できれば、実習の1か月後位に手土産でも持って実習校に挨拶に行くといいでしょう。そのときは真っ先に校長室へ行って挨拶してください。次に職員室にいる副校長、そして指導教員等という順番を守ってください。ヒエラルキー(階層)を重んじるのは、社会人としての常識です。教採を受けた人は、合否に関わらず、試験結果を実習校に知らせてください。受けなかった人も自分の進路を報告してください。どの先生も皆さんの合否や進路を心配しているのです。

★ 実習校に対しては、感謝の気持ちをもって対応してください。実習校の先生方は、皆さんの応援団なのでから。